

明けましておめでとうございます
本年もよろしく願い申し上げます

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: right;">会長 半田 一登</p> <p>新年をお慶び申し上げます。今年は医療・介護・障がいのトリプル改定という事で数年前から注目されてきました。どのような改定になるか現在（12月5日）では予測が困難ですが厳しいものが予測されます。一方、地域包括ケアシステムの進展に伴い理学療法士の果たすべき役割は拡大の一途をたどっており、周辺の期待感が増すばかりです。今年はこの期待に応えたというビッグデータによる証明が必要となります。力を併せて未来を築きましょう。</p> |
|  | <p style="text-align: right;">副会長 内山 靖</p> <p>本年もよろしく願い申し上げます。 地域での活動、prevention/prehabilitation を含めた社会保障費の効率的運用を実行するためには、質の高い理学療法の標準化が不可欠です。協会として、教育研究機関との連携ならびに卒前教育・卒後学習の接続を推進する必要があります。あわせて、国際的視野に立った日本式の理学療法を世界へ発信するとともに、身近な地域で一市民として互助にかかわる目標を立てて実行していきましょう。</p> |
|  | <p style="text-align: right;">副会長 斉藤 秀之</p> <p>新年のお慶びを申し上げます。今年の干支は戌です。社会性を持ち、資格取得の勉強や何か頑張りたいことを見つけて励むことに適しているようです。5月には、リニューアルする学術研修大会が開催されます。会員の皆様が一堂に会して、社会が要請している理学療法士の技能を研修していることを示す場となることを期待しています。是非とも多くの会員の皆様の力で育ててください。最後に、国が姿を変えようとしているなか、「合成の誤謬」とみられない理学療法の矜持を示しましょう。</p> |
|  | <p style="text-align: right;">副会長 森本 榮</p> <p>新年おめでとうございます。本年も地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の医療提供体制の見直し、医療・介護・福祉の連携の強化、市町村の総合事業などが一体的に推進されます。会員の中に「医療保険に関心はあるが介護保険にはない」と答える人もいますが、両保険制度の理解は当たり前、さらに福祉にも目を向ける時代です。本年はトリプル改定年度です。何を国が推進しようとしているのかを理解し、地域目線で再考し業務に取り組んでいただければ幸いです。</p> |

INFORMATION

日本支援工学理学療法学会では、昨年末に引き続き、第2回目として「福祉用具」に関するアンケートを実施します。ご協力をお願いします。詳しくはホームページをご覧ください。

間違い FAX がありましたら、大変恐れ入りますが、上記 TEL/FAX までご連絡ください。
 (会員の皆様へ) FAX 番号・代表者名・施設名等の変更は施設代表者のマイページよりお手続きください。